

令和2年度病害虫発生予察情報 注意報第9号

令和2年7月28日
岩手県病害虫防除所

りんご斑点落葉病が急増しています。発生の多い園地では、効果の高い薬剤を散布しましょう。

- 1 対象作物、病害虫 : りんご、斑点落葉病
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期（感染時期） : -
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠

(1) 7月後半の巡回調査でのふじの発生園地率は58.1%（平年43.5%）で平年より高かった（図1）。

また、発生度は26.6（平年13.7）で平年より高く、7月に急増した（図2）。

(2) 8月の気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予報であり、発生に好適な条件。

6 防除対策

(1) 樹上部の徒長枝に多発している場合は、重要な伝染源となるので早めに除去する。

(2) 発生の多い園地ではペフラン液剤25（1,500倍とする）やポリオキシシン混合剤など本病に効果の高い剤を用いる。なお、ポリオキシシン混合剤は耐性菌を生じやすいので連用しない。

(3) 秋期には王林がかかりやすくなるので注意する。王林での秋期発生に対しては、8月下旬～9月上旬に効果の高いナリアWDGかユニックス顆粒水和剤47を散布する。

(4) 早生品種は収穫直前となっているので、散布する際は農薬使用基準（収穫前日数、使用回数）を遵守するとともに、散布対象以外の品種に飛散しないよう十分注意する。

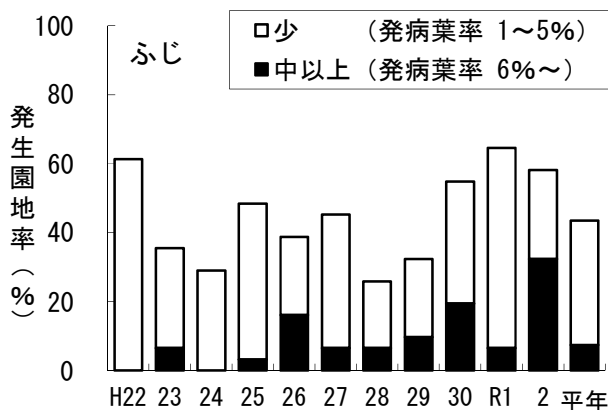


図1 斑点落葉病の発生園地率の年次推移
（ふじ、7月後半、徒長枝上位10葉）

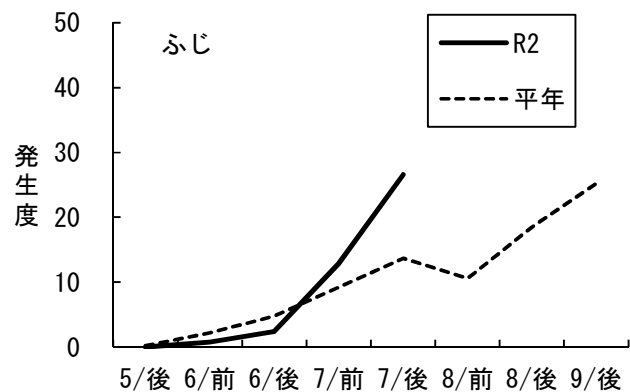


図2 斑点落葉病の時期別発生度（ふじ）
※「発生度」= (4A+3B+2C+D) × 100 / (調査園地数 × 4)、A: 発病葉率21%～、B: 11～20%、C: 6～10%、D: 1～5%の園地数

☆農薬危害防止運動実施中(6/1～8/31)☆

【利用上の注意】

- ・本資料に掲載した農薬は、令和2年7月14日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。
- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆病害虫防除に関する情報は、いわてアグリベンチャーネット

<https://i-agri.net/Index/gate003> からご覧いただけます。